

## 2023 年度 神奈川県石油コンビナート等防災本部訓練について

## 【合同図上訓練】

## 1 目的

神奈川県石油コンビナート等防災本部を構成する関係各機関による合同図上訓練を実施し、石油コンビナート等特別防災区域における災害発生直後の初動対応の習得・習熟及び関係各機関同士の連携強化を図り、県内のコンビナート防災体制を強化することを目的とする。

- 2 開催日時 2024 年 10 月下旬～11 月上旬のうちいずれかの日  
訓練時間 13:00～16:30

- 3 会場 神奈川県庁西庁舎 7 階 統制部室 A、B（横浜市中区日本大通 1）

※設備工事のため日程、開催場所について現在調整中

## 4 参加機関

県消防保安課、県警本部危機管理対策課、横浜市危機管理室・消防局、川崎市危機管理本部・消防局、第三管区海上保安本部、ENEOS(株)根岸製油所、東亜石油(株)京浜製油所、神奈川地区広域共同防災協議会、京浜臨海地区特別防災協議会

## 5 重点訓練項目

## (1) 災害対応の初動対応の把握

地震等によりコンビナート事業所で災害が発生した際の初動対応について把握する。

## (2) マニュアル類の把握・検証

特別防災区域内において、周辺に影響が及ぶ可能性の高い災害が発生した場合の対応等を定めたマニュアル類の把握と理解に努める。併せて、現状のマニュアル類に対する加筆修正等の必要性を検証する。

## (3) 権限移譲を見据えた県における災害対応の把握

現在、権限移譲の検討が進められている中で、横浜市及び川崎市からの本部連絡員の参集が検討されている。そこで、横浜市消防局及び川崎市消防局の職員が、本訓練の中で県石コン本部チームにおける災害対応を行い、対応の把握及び理解に努める。

## 6 訓練の実施方法

令和 5 年度実施のシナリオを基調として初動対応に重点を置いたオープンシナリオに、一部ブラインドシナリオを追加した形での合同図上訓練（机上訓練）を実施する。

## 7 被害想定の概要

### (1) ENEOS 株式会社 根岸製油所

- ・原油タンクでリム火災が発生し、全面火災へと発展する。
- ・栈橋配管フランジ部から海上へ原油が漏えいし、風により漏えい範囲が広がる。

### (2) 東亜石油株式会社 京浜製油所

- ・LPG タンクからガスが漏えいし、火災となり、爆発の危険性が生じる。